

令和5年度 入学者教育課程表

A 表	(表 面)	第1学年の 学 級 数	1
教育局	上川	北海道剣淵	高等学校

A 表

(裏面)

	北海道剣淵	高等学校	全日制課程	学科	総合学科
--	-------	------	-------	----	------

教科 科目・標準単位数	学年 類型	1年		2年			3年			計
		必修	総合選択	必修	総合選択	自由選択	必修	総合選択	自由選択	
農業	農業と環境	2~6	3							3
	課題研究	2~6			2			2		0~4
	総合実習	2~8			4			5		0~9
	作物	2~8			2			3		0~5
	野菜	2~8			2			3		0~5
	花草	2~8			2			3		0~5
	農業経営	2~6			3	2	—		2	0~3
	農業機械	2~6						2		0~2
福祉	生物活用	2~6			3			3		0~6
	○農業経済基礎	2	2	—						0~2
	社会福祉基礎	2~6	2	—	2					2~4
	介護福祉基礎	2~6			2			3		0~5
	コミュニケーション技術	2~4		2	—					0~2
	生活支援技術	4~12			5			5		0~10
	介護過程	2~6						4		0~4
	介護総合演習	2~3			2			1		0~3
○産業社会	介護実習	4~16			6			7		0~13
	こころとからだの理解	2~8			3			5		0~8
	○福祉教養	2				2	—		2	0~2
	○産業社会と人間	2	2							2
	○絵本探究	2			2					0~2
	○地域産業実習	2			2					0~2
	○課題探究	2			2			2		0~4
	○進路探求	2						2		0~2
各学科に共通する各教科・科目の計		22	0	9	0~14	0~2	4	0~21	0~2	35~74
主として専門学科において開設される各教科・科目の計		5	2	0	0~20	0~2	0	0~25	0~2	7~56
学校設定教科に関する科目的計		2	0	0	0~6	0	0	0~4	0	2~12
総合的な探究の時間 (総合探究)		3~6		1		1		1		3
合 計			32		32		32			96
特別活動	ホームルーム活動		1		1		1			3

教育課程に係るその他の事項

卒業までに修得させる単位数	74 単位	卒業に必要な履修と修得の単位数	<input type="radio"/> 1 分離している <input type="radio"/> 2 分離していない
学期の区分	1 3学期制 ○ 2 2学期制	学期の区分ごとの単位修得の認定	<input type="radio"/> 1 実施している <input type="radio"/> 2 実施していない
1 単位時間の弾力化	○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他 ()		
学校外における学修の単位認定	○ 1 実施している (③・④・⑤) 2 実施していない		
総合的な探究の時間の実施方法	1 週時程に位置付けて実施する。 ○ 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。		
備考	1 総合選択科目群(系列)として、農業国際、生活福祉、未来のしんろ系列の3系列を開設している。 2 1年次は総合選択科目から2単位(後期:「農業経済基礎」または「コミュニケーション技術」のいずれかを選択) 2年次は総合選択科目から18~20単位、自由選択科目から2単位選択して履修する。 3年次は総合選択科目から21~25単位、自由選択科目から2単位選択して履修する。 3 生活福祉系列は教科「福祉」の総合選択科目を全て履修する。 4 自由選択科目は2年次と3年次それぞれ別科目を履修する。 自由選択科目の「農業経営」(2単位)は、生活福祉系列と未来のしんろ系列が選択できる。 自由選択科目の「福祉教養」(2単位)は、農業国際系列と未来のしんろ系列が選択できる。 5 「数学II」は2・3年次で継続して履修する。		

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。